



理学部第二部化学科の卒業生が博士課程にて平成27年度「東京理科大学大村賞」を受賞！！

一本学出身者として初めてノーベル賞を受賞した大村智先生の栄誉を称え、本年創設一



日本武道館の卒業式にて藤嶋学長から大村賞を受ける星野翔麻さん

大村賞は、本学大学院理学研究科修了生でノーベル賞を受賞した大村智先生の栄誉を称え、創設された。極めて優秀な研究業績をあげ、本学学生の模範と認められる者1名のみが表彰される。星野さんは、本学総合化学研究科総合化学専攻の博士課程において、3本もの論文を完成させた功績が高く評価され、今回の受賞につながった。

●星野翔麻さんの経歴

平成23年3月31日 東京理科大学 理学部第二部 化学科 卒業

平成25年3月31日 東京理科大学大学院 総合化学研究科 総合化学専攻 修士課程 修了

平成28年3月31日 東京理科大学大学院 総合化学研究科 総合化学専攻 博士課程 修了

(所属研究室)理学部第一部化学科 築山研究室(教授 築山光一)物理化学・光化学



●入学理由

私は高校での文理選択で文系を選択しました。しかし、学習を進めていくうちに、本当に自分に合っているのは理系なのではないだろうかという疑問が生じてきました。そんなときに、担任の紹介で理科大の二部の存在を知りました。元々化学に興味があったこと、一部と変わらない授業内容であること、学費が一般の理系学部と比べると半分程度で済むことなどを考えて二部化学科を受験することに決めました。

●現在の仕事

東京理科大学で博士課程を修了した後、東京工業大学で博士研究員として研究を続けています。現在は、瞬間的にしか光らないレーザー光を使って、超高速で運動する分子を精密に観測する、さらにその分子の運動を制御するような研究を行っています。

●今後二部を目指す受験生へ

理学部第二部には現役のフレッシュな大学生だけではなく、他大学を卒業されて、さらに専門的な知識を身につけようとしている方、社会人学生の方、社会経験を経て勉強に励みにきた方などの人生経験豊富な方々が多く在籍しています。これは理学部第二部の特色であるとともに、一つの大きな利点です。理科大には関門制度という厳しい壁はありますが、言い換えれば、高い水準の学習ができるということだと思います。

また、様々な部活動やサークルなどもあり、学部学会を跨いで多くの友人を作ることができると思います。是非、勉強・部活・趣味・アルバイトなどを両立させて、大学生活を楽しんで下さい。

